

|| バリュエーションレポート ||

SRS ホールディングス

8163 東証プライム市場

[企業情報はこちら >>>](#)

[企業調査レポートはこちら>>>](#)

2026 年 7 月 13 日 (月)

執筆：フィスコアナリスト

渡邊俊輔

FISCO Ltd. Analyst Shunsuke WATANABE



FISCO Ltd.

<https://www.fisco.co.jp>

SRS ホールディングス

2026 年 7 月 13 日 (月)

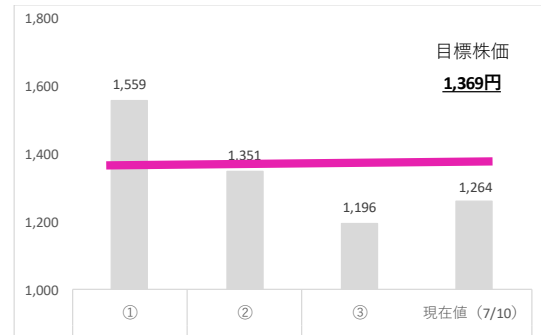
8163 東証プライム市場

<https://srsholdings.com/pages/ir>

レーティング : Buy 目標株価 1,369 円で 8.3%の上値余地

【和食さと、家族亭、にぎり長次郎など和食中心にレストランを全国展開】。2026 年 3 月期までの営業利益 CAGR (2027 年 3 月期の予想値と比較) を+24.7%と予想、今後 1 年程度の目標株価を 1,369 円とした。

	2028年3月期	2029年3月期	2030年3月期
PER (倍)	22.40	17.16	13.44
PBR (倍)	2.66	2.46	2.23
ROE	11.2%	13.6%	0.0%
売上高成長率	10.8%	12.0%	11.7%
営業利益率	4.1%	4.8%	5.4%
営業利益 (億円)	38.0	49.0	62.0
会社予想	38.0	49.0	62.0
フィスコ予想	38.0	49.0	62.0
コンセンサス	-	-	-
純資産 (億円)	196.9	212.9	235.3



※特に断りがなければ数値はフィスコ予想。

※ 株価 : ①類似企業の今期予想平均PER、②2030年3月期のPER15倍、③2027年3月期から2030年3月期までの成長率によるPEG1倍。

業績概況/中期経営計画の進捗状況

円安やコスト上昇が続く、消費者の節約志向の高まりが外食業界の懸念材料。一方、インバウンド需要や万博開催効果により外食需要は底堅く推移。業態ごとにエリア拡大やドミナント強化を通じ、店舗数の拡大と売上成長を目指す。

概要

当社アナリストのコメント

直近決算

2026 年 3 月期は、売上高 76,421 百万円、営業利益 3,051 百万円となり、売上高・各利益ともに過去最高を更新。メニュー施策や価格改定による既存店の好調に加え、前期・当期の M&A による連結寄与、新規出店が大きく貢献。原材料費や人件費などコスト増加を吸収し増益を確保。

中計

中期経営計画「SRS VISION 2030」では、「既存事業の飛躍的発展と新たな収益基盤の確立による和食チェーングループ圧倒的 No.1 の実現」を基本方針に掲げる。「和食さと」の全国展開、グルメ寿司事業の強化、第 3・第 4 の収益柱の確立、グループ機能の強化とサステナブル経営の推進を重点施策として進める。最終年度となる 2030 年 3 月期には、連結売上高 1,150 億円、経常利益 60 億円、ROE12%超、店舗数 1,180 店の達成を目指す。

既存店の増収と M&A を組み合わせた規模拡大戦略が奏功し、物価高騰が続く厳しい経営環境下でも 2 ケタ増益を確保した。加えて、投資有価証券売却益の計上により、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比 83.1%増と大幅に増加した。中期経営計画の初年度として、順調な進捗となった。

中期経営計画最終年度の店舗数目標は、2026 年 3 月末比 400 店舗増 (51.3%増) と意欲的な水準である。一方で、主力の「和食さと」では、中四国エリアでの出店加速とナショナルブランド化に向けた取り組みが着実に進展しており、2026 年 3 月期には岡山県で新規出店を実現するなど、今後の成長に向けた基盤を構築した。今後も積極的な M&A や DX の推進による生産性向上を進め、店舗展開の加速と資本収益性の改善を目指す。

投資のポイント

強み/競争力の源泉

関西圏での強力なドミナント形成と郊外中心の直営展開が強み。グルメ寿司では職人の育成、いけすなどの設備、ネタの調達力という独自の経営資源を保有。また、積極的な M&A とグループ間での仕入ノウハウ共有によるシナジー創出力が、和食チェーン No.1

SRS ホールディングス | 2026 年 7 月 13 日 (月)
8163 東証プライム市場 | <https://srsholdings.com/pages/ir>

株価のアップサイド要因
/変化の兆し

を目指す競争力の源泉である。

中計達成に向けて業績が順調に推移し、さらに M&A などを通じて 2030 年以降も成長ペースを維持できる見通しが高まれば、ROE は 13% 台まで上昇し、目標株価は 1,400 円台も視野に入ろう。

株主還元

連結配当性向 20% 以上を目安とする方針。株主優待については、対象となる保有株式数を 1,000 株から 100 株に引き下げるなど、還元内容を拡充した。個人株主の継続保有を促進し、株主基盤の安定化につながる施策である。

Buy : 目標株価の設定時において、目標株価が現在値より 10% 以上である。
Neutral : 目標株価の設定時において、目標株価が現在値より -10% から +10% の範囲内。
Sell : 目標株価の設定時において、目標株価が現在値より -10% 以下である。
Suspended : 目標株価を停止。
※投資判断および目標株価は概ね 1 年後の想定。

ディスクレーマー(免責事項)

株式会社フィスコ(以下「フィスコ」という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したものです。フィスコは本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、的確性、信頼性等について、いかなる保証をするものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業への電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受け、企業から報酬を受け取って作成されています。本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。

本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品、有価証券その他の金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものでもありません。お客様が本レポートおよび本レポートに記載の情報をいかなる目的で使用する場合においても、お客様の判断と責任において使用するものであり、使用の結果として、お客様になんらかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかなを問わず、いかなる責任も負いません。

また、本レポートに掲載されている発行体と当社 (IR コンサル部) は現在または将来において、(アナリストレポートの作成や動画配信、IR コンサルティングサービスなどの) 有償の取引を行っている/行う場合がございます。

本レポートに記載された内容は、本レポート作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。フィスコは本レポートを更新する義務を負いません。本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、フィスコに無断で本レポートおよびその複製物を修正・加工、複製、送信、配布等することは強く禁じられています。

フィスコおよび関連会社ならびにそれらの取締役、役員、従業員は、本レポートに掲載されている金融商品または発行体の証券について、売買等の取引、保有を行っているまたは行う場合があります。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

■お問い合わせ■

〒107-0062 東京都港区南青山 5-13-3

株式会社フィスコ

電話 : 03-5774-2443 (IR コンサルティング事業本部)

メールアドレス : support@fisco.co.jp